

# 随想 62

## 桜に寄せて 佐々木伸子(津古)

早春、まだ少々、肌寒さが残る頃、私は心ワクワク待ち望むことがある。それは“桜の開花”。我が家は宝珠川の河畔にある。近頃ここは隠れた桜の名所であるらしく、時節には多くの見物の人たちで賑わう。

20年ほど前、地域の古老の方々が苗木を植えたのが始まりで、1メートル程の頼りなげな苗木が今ではたっぷりの花を咲かせるまでになった。枝を伸ばし、川面に花影の映る様はなかなかよい風情である。

両親に手を引かれた小さな子ども達、車椅子のご老人など、どの方も表情ほんのりと満開の桜を楽しんでおられる。お互いあいさつを交わし、ここが小さなコミュニティの場所となっているのを感じる。

私も当地に嫁いだばかりの頃は、この自然の風景に感動多々あり、随分と心癒されたものである。都会では経済性、利便性が優先されて身近にこのような場所は少ない。

近年このあたりも都市化が進み、少しずつ自然が減ってきているように思う。豊かな自然を大切に、なるべく今のまま次世代に残さなければ“もったいない”と思っていた。

そんな中、昨年6月、地域の有志によって「津古ふるさと会」が発足した。私もその一員に参加させていただいて、月一回の川周辺の清掃や花植えなどのお手伝いをしている。今では鯉が泳ぎ(有志の方が放流して下さった)、川遊びの子ども達の声が響いて、四季折々、憩いの場となっている。自然を守ることは努力のいることではあるが、人が集い、身近に心安らぐ癒しの場所があるということは素晴らしいことである。

末永く今の風景が残り、来春も満開の桜が皆を楽しませてくれることを祈っている。

次号(2月号)は、緒方美千子さん(古賀)にリレーされます。



▲佐々木さん(前列右から2人目)と津古ふるさと会のメンバー(一部)

アンビシヤス運動とは、「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ(アンビシヤスな)たくましい青少年の育成」をめざす福岡県の県民運動で、市では、子どもたち一人ひとりの豊かな感性と豊かなつながりを育むため、子ども体験活動や居場所づくりを行っています。



11月2日、小郡小学校運動場の「くすのき」の下で、「月夜のおはなし会」が開催されました。  
「青少年アンビシヤス運動地域連携事業小郡校区実行委員会」と「小郡校区人権のまちづくり推進連絡会」が開いたもので、星空のもと手づくりの大型紙芝居や巻物絵本などの読み聞かせがあり、子どもたちは真剣な眼差しで見っていました。  
また、少し冷え込んだ夜になりましたが、体に温かい「魔女のスープ」が出されるなど心に残る「お話し会」となりました。

### 月夜のおはなし会

11月10日、開催10年を記念した「10年記念人権フェスタ」が宝城中学校体育館で、また第8回リハビリフェスタもみんなの笑顔をもちよって、大原中学校運動場でそれぞれ開催されました。  
宝城中学校区「人権のまちづくり推進委員会」が主催し、学生や保護者、地域の代表者などが参加し、学校の生活の中などで感じたことなどを発表し、人権の大切さを訴えました。

11月10日、開催10年を記念した「10年記念人権フェスタ」が宝城中学校体育館で、また第8回リハビリフェスタもみんなの笑顔をもちよって、大原中学校運動場でそれぞれ開催されました。  
宝城中学校区「人権のまちづくり推進委員会」が主催し、学生や保護者、地域の代表者などが参加し、学校の生活の中などで感じたことなどを発表し、人権の大切さを訴えました。



### 人権フェスタ・リハビリフェスタ

# 社会功労者表彰



社会功労者表彰を受けた皆さん

11月5日、平成19年度社会功労者が表彰されました。

## ◇社会功労者(社会福祉事業等民生の安定に努めた者)

平山 壽美男(花立)	永年にわたり少年補導員として青少年の育成に貢献
美山 孝男(干潟)	永年にわたり少年補導員として青少年の育成に貢献
山田 瑠美子(稲吉)	永年にわたり保護司として社会福祉の向上に貢献

## ◇社会功労者(保健衛生、地域医療の振興に努めた者)

菊池 卓(大板井1)	永年にわたり学校医をして生徒の保健衛生の向上に貢献
赤松 誠一郎(干潟)	永年にわたり学校医として児童の保健衛生の向上に貢献

## ◇社会功労者(学術、芸術、体育その他教育、文化の振興に努めた者)

瀧 祐雄(新町)	永年にわたり図書館運営の進展に貢献
牟田 キヨカ(埼玉県上尾市)	学校教育の振興に貢献

## ◇社会功労者(交通安全、災害の防止救助等に努めた者)

成富 壽明(下町)	永年にわたり消防団員として消防活動の推進に貢献
重松 恵(干潟)	永年にわたり消防団員として消防活動の推進に貢献
久保山 和則(西島)	永年にわたり消防団員として消防活動の推進に貢献

## ●防衛大臣表彰

久光 良夫(大原)  
永年にわたり防衛施設の安定使用と防衛基盤の育成に貢献したとして防衛大臣表彰を受けられました。



第4回

10月28日(日)

# あすてらすフェスタ

10月28日、総合保健福祉センター「あすてらす」で、あすてらすフェスタ(第22回小郡市民の健康づくり大会)が開催されました。食と健康づくりに役立つコーナーや福祉やボランティア紹介コーナーなどが開設され、子どもから大人までたくさんの方にぎわいました。



乳がん市民公開講座

脳の健康教室



地元の食材を使った  
バイキングコーナー



健康づくり体験体操

赤い羽根共同募金  
シンボルキャラクター 愛ちゃん



福岡県国保連合会  
マスコットキャラクター ひまりん

セラピューティック・ケア



口腔がん検診

まちの健康相談室



体力測定



水中ウォーキング体験

バザーコーナー



学校給食コーナー



キッズコーナーお話し会

## 米と大豆をまるごといただきました



秋晴れとなった11月3日、総合保健福祉センター「あすてらす」で、筑後スローフードフェスタ2007の地域イベント「豆バリ!!グール米ツ祭」が開催されました。

これは、筑後地区の食文化を広くPRしようとする「筑後スローフードフェスタ」の一環として開催されたものです。今年イベントは、「親子で作る、おにぎりアートコンテスト」「味噌づくり体験」「手作りざる豆腐の講習会&試食会」と「家庭料理バイキング」におにぎりコンテストでは、県産新米を使い、かわいくて美味しそうな作品が出来上がり、参加者の目を楽しませていました。

またバイキングでは、県内で上位の生産高を誇る大豆を余すところ無く食べてもらおうと、手作りざる豆腐をはじめ、大豆ハンバーグ、おからサラダ、大豆ゼリーなどのメニューがずらり。とてもやさしい味がして美味しかった」と参加者も満足の笑顔でした。

## おごおり物産展開催



11月4日に総合保健福祉センター「あすてらす」駐車場で、おごおり物産展が開催されました。地元で採れた野菜や果物、呼子海産物や鴨「こはん」などが並び、買い物を楽しんだ後、休憩所で鴨「こはん」やうどんを食べる姿が見られました。

また、お米のすくい取り大会やお菓子のつかみ取り大会は長蛇の列ができ、開始30分で終了するなど大変な人気でした。

今年「JAみい農業まつり」と共同開催ということもあり、多くの買い物客で賑わいました。

## 秋の収穫祭



▲餅つき風景

さわやかな秋の一日、皆さんはどのように過ごされましたか。

広葉樹の葉が程良く色づき始めた11月3日、市内唯一の山「花立山」の麓、城山公園で10回目を迎えた「花立山」秋の収穫祭が行われました。

収穫祭を主催したのは、花立山を楽しむ会「福永丈四郎会長」。平成3年の台風などで山が荒れ、このままではせっかくの里山が大変なことになってしまおうという思いから出発し、山の魅力を知らせてもらおうと、平成10年から始まりました。

早朝からつめかけた来場者の中には、地元の生産者が作った加工食品や採れたての野菜などを熱心に品定めし、購入していました。

同時に開かれた茶席は気軽に楽しめる好評で、老若男女が秋の木洩れ日を浴びておいしいお茶を楽しんでいました。

また、子どもたち向けに開催された「工作教室」では、親子が協力して巣箱を作る姿も見られ、親子のふれあいの場となりました。



▲工作教室風景

その他、石臼でつかれた「もち」が売られたり、畑で芋掘りが行われるなど、収穫の秋を十分楽しめた一日となりました。